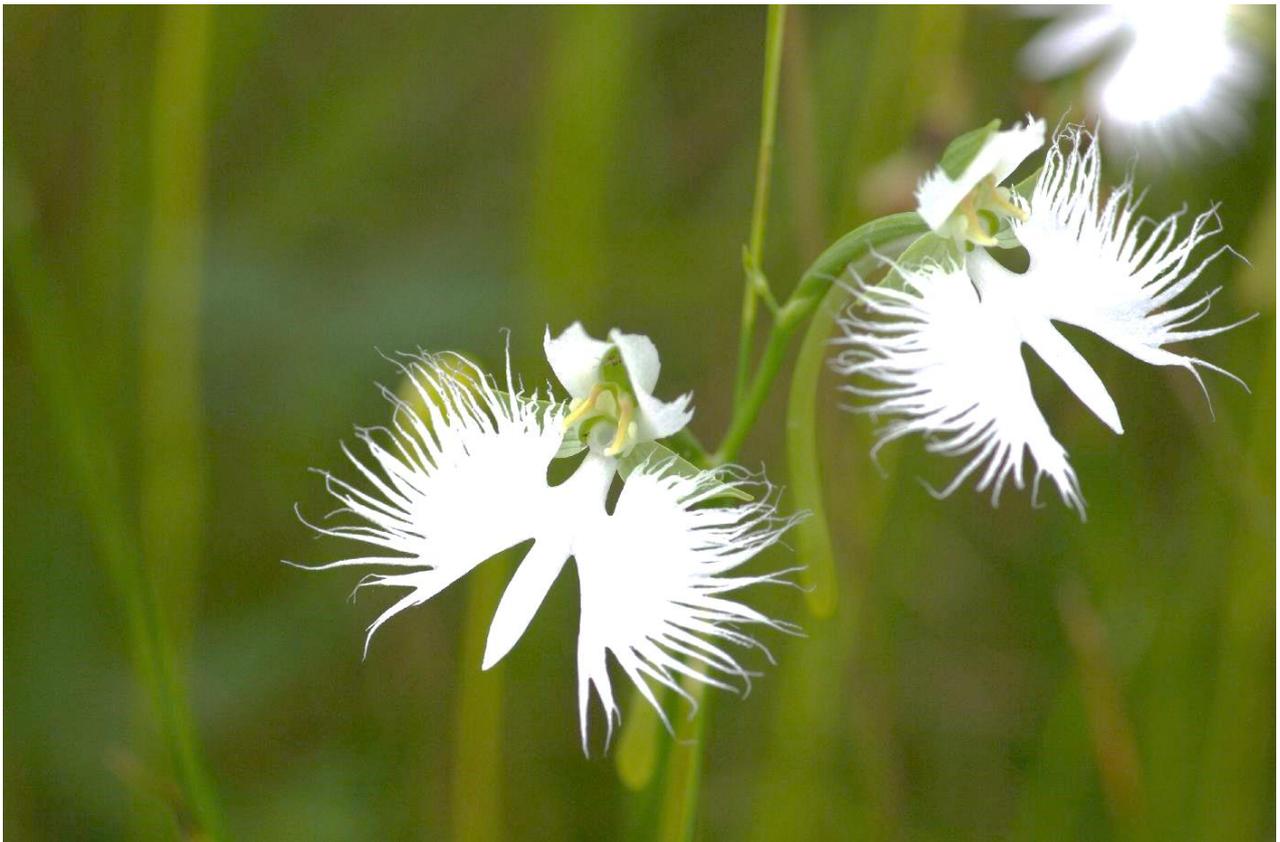


飯野地区地域づくり協議会 地域計画
(2020～2023年度)



みんなが笑顔で暮らすまち 飯野

目 次

1	はじめに	1
2	地域づくりの基本目標	1
3	飯野地区の姿（現状分析）	2
	（1）地区旗・地理	2
	（2）地域のなりたちと人口	2
	（3）地域の主な資源	5
	（4）住民の意識と地域課題（アンケート結果から）	6
4	まちづくりの基本方針と取り組み（分野別）	8
5	「地域計画」策定経過	14
6	組織図	15

1 はじめに

飯野地区地域づくり協議会では、より住みよいまち飯野を実現していくために、飯野地区の目指すべき将来の姿を定め、その将来の姿を実現するための指針とするため、アンケート調査による住民の声、地域で活動する方々からの意見を聞きながら、「飯野地区地域づくり協議会地域計画」を策定しました。

計画策定におきましては、鈴鹿中央道路の沿線に広がる活力ある商店街、地区の中央部に広がる水田地帯、そして、人と人とのつながりを大切にし、安心安全で明るく元気に暮らす人々の姿を念頭におきながら計画策定を行いました。

計画期間は、鈴鹿市の総合計画2023の後期計画期間に合わせて、2020年度から2023年度の4年間としております。

飯野地区の地域づくり協議会は、2020年2月に発足したばかりです。

今後、活動していく中で、組織の充実を図り、取り組みの見直しなどを行い、より充実した地域活動を行ってまいります。

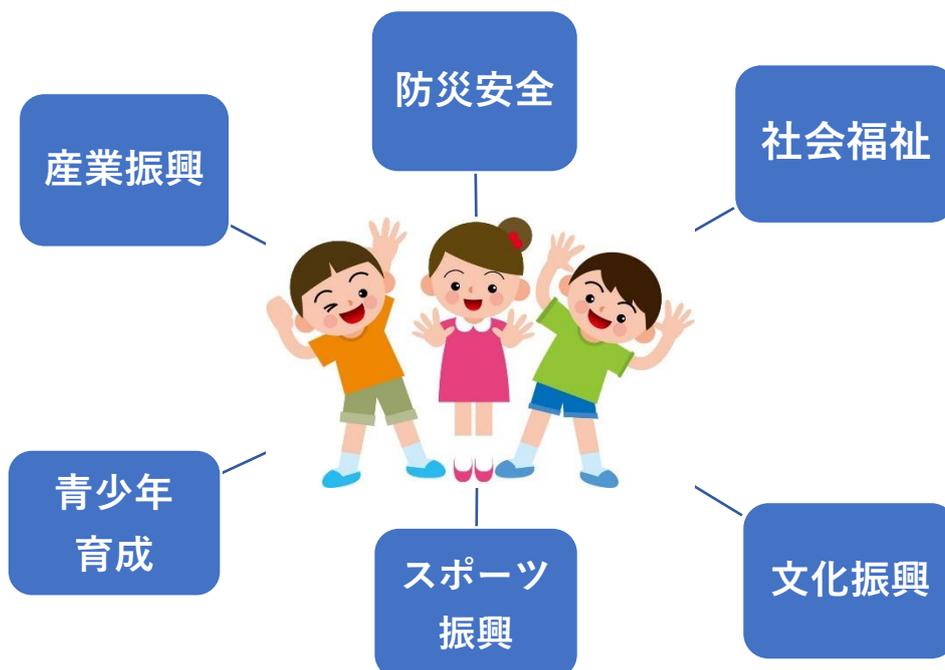
2 地域づくりの基本目標

みんなで目指す飯野地区の将来像

「みんなが笑顔で暮らすまち 飯野」

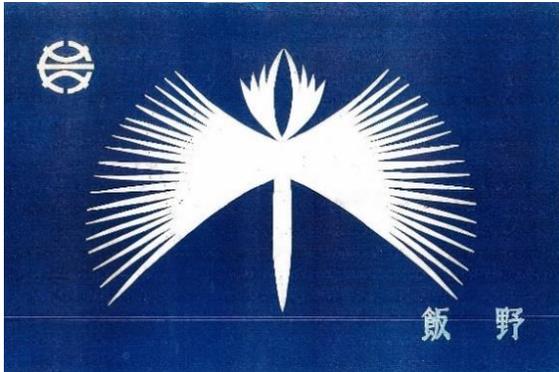
飯野地区で暮らすみんなが、互いに協力し、活力があり、安心安全に楽しく生活し、笑顔で溢れるようなまちをつくることを目標としました。

また、みんなが、笑顔で暮らせるまちを目指すため、6つの分野からアプローチします。

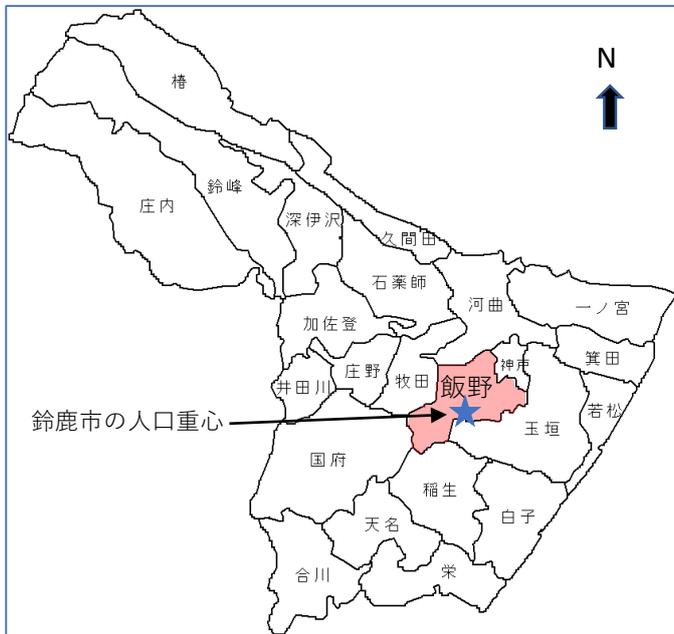


3 飯野地区の姿（現状分析）

(1) 地区旗 さぎ草



地理



昭和40年8月15日の終戦20周年を記念し、スポーツを通じ地区内の親和と協力を図る目的で作成

飯野地区には、国の天然記念物に指定されている金生水沼沢植物群落があります。

この沼沢植物群落の中には、しらさぎの姿によく似た清楚な花を咲かせる「さぎ草」が自生しており、飯野地区の地区旗は、この「さぎ草」をモチーフとし、旗の地色は、紺碧の空に飛ぶしらさぎを想起する青としました。

当地区は、鈴鹿中央道路が東西方向に走り、地区中央部の水田地帯を中心に、周辺を集落が取り囲んでおり、文化会館、図書館、県合同庁舎等の行政施設や鈴鹿農協本店、鈴鹿中央病院などが立地しています。

地区内には、飯野小学校、神戸小学校、清和小学校、玉垣小学校の4つの小学校区があり、また、創徳中学校、神戸中学校、千代崎中学校の3つの中学校区があります。

鈴鹿市の人口重心は、東経136度33分50.34秒、北緯34度52分00.44秒の位置で、飯野地区内の地子町924番地（水田）付近となっております。

（人口重心とは、人口の1人1人が同じ大きさを持つと仮定して、その地域内の人口が、全体として平衡を保つことのできる点をいいます。）

— 平成27年度国勢調査より —

(2) 地域のなりたちと人口

飯野地区の前身である飯野村は、明治22年に、西条村、寺家村、安塚村、三日市村、地子町新田の5つの村が合併して発足しました。発足時の人口等は、1,733人、326戸であります。

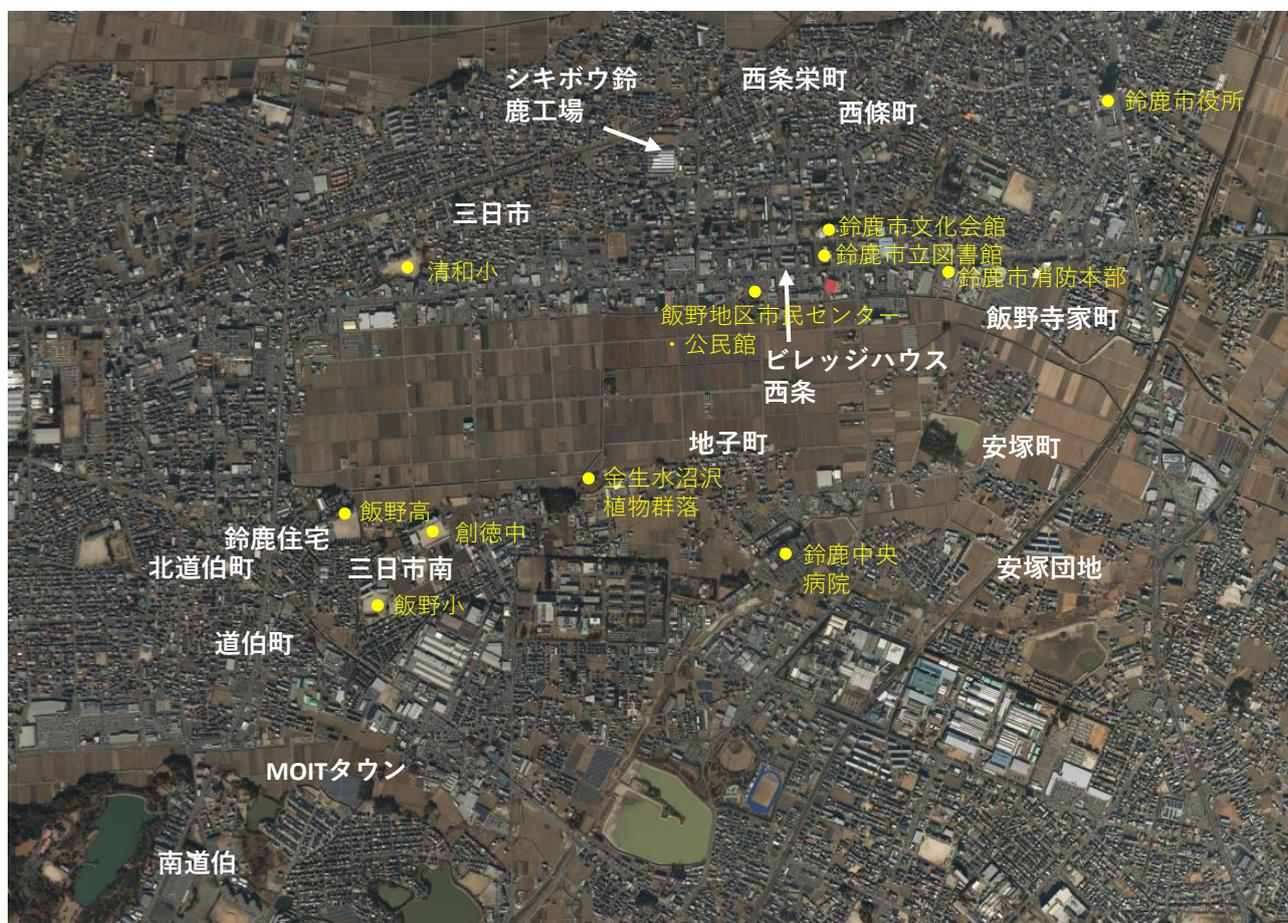
飯野村の名前の由来は、現在の三日市二丁目にあります飯野神社です。

昭和17年12月1日市制施行時には、西条町、三日市町、道伯町、地子町、安塚町、飯野寺家町の6町で行政区「飯野地区」となり、人口は1,884人となりました。

現在は、15の自治会となり、人口も15,309人となっております。

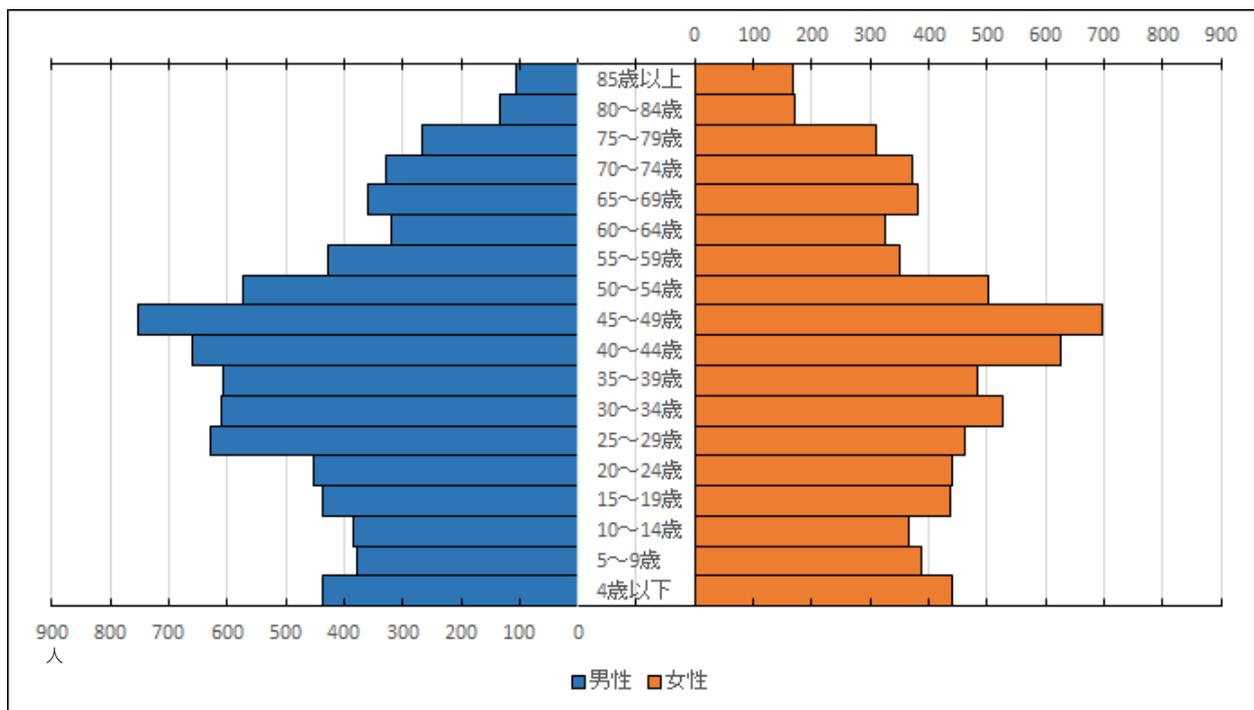
なお、15の自治会の発足は、次の表のとおりであります。

自治会名	発足年月日	備考
西條町	昭和32年2月2日	昭和41年 西条栄町分割
三日市	昭和32年1月2日	平成28年 三日市町から名称変更
道伯町	昭和32年1月5日	平成8年 南道伯分割
地子町	昭和32年1月7日	
安塚町	昭和32年1月8日	
飯野寺家町	昭和32年1月3日	
鈴鹿住宅	昭和32年2月1日	
北道伯町	昭和32年2月10日	
西条栄町	昭和41年1月25日	西條町から分割発足
三日市南	昭和61年1月1日	
南道伯	平成8年9月1日	平成8年 道伯町から分割
ビレッジハウス西条	昭和42年12月11日	平成29年 雇用促進住宅から名称変更
シキボウ鈴鹿工場	昭和35年9月27日	平成2年 敷島キャンバスから名称変更
安塚団地	昭和52年5月10日	
MOITタウン	平成28年4月1日	



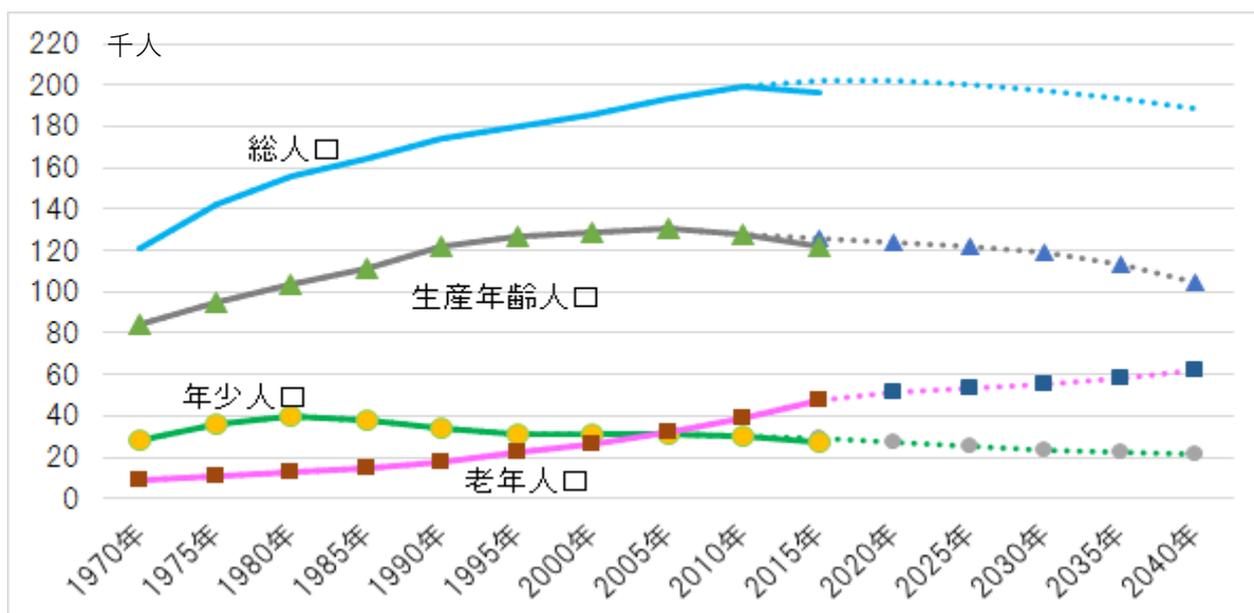
○人口 15,309人 (男7,861人 女7,448人)
 ○世帯数 6,962世帯

飯野地区の人口構成



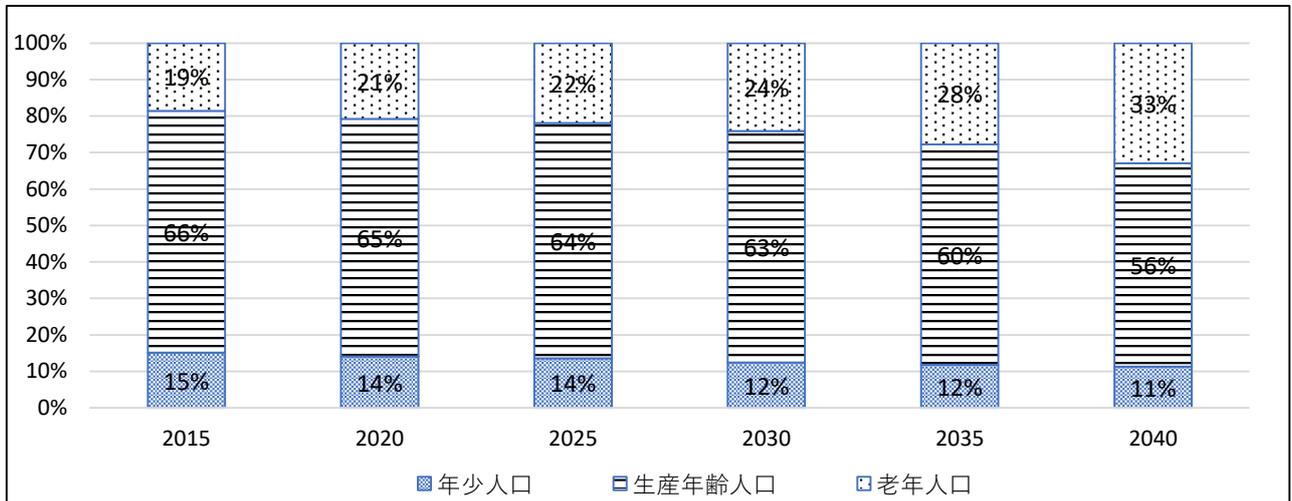
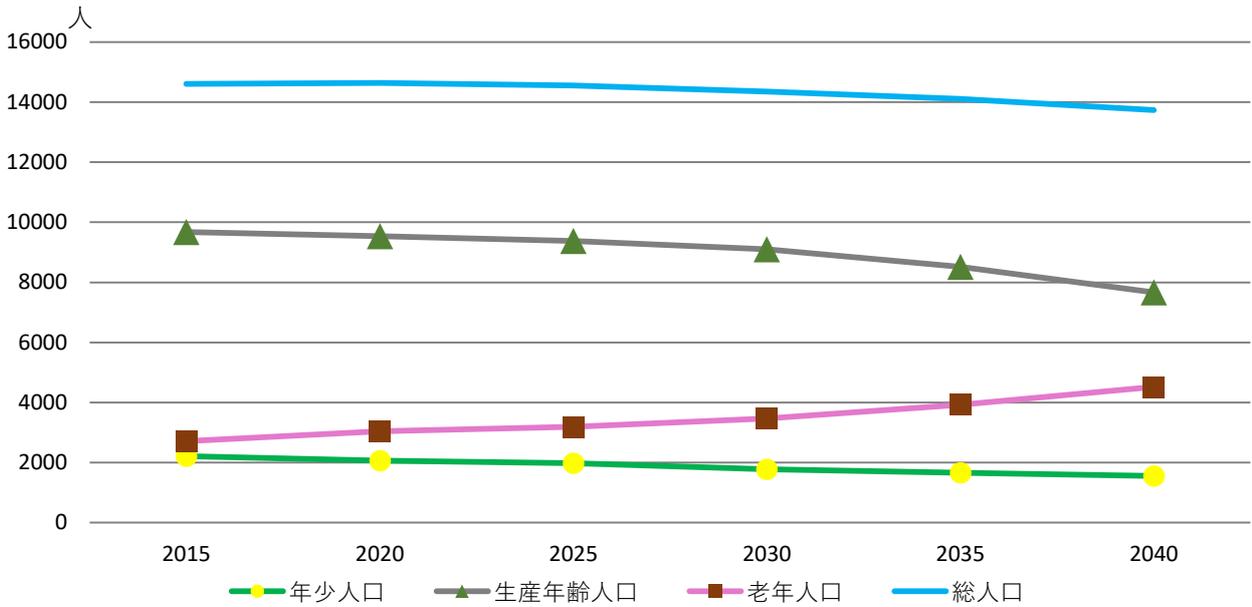
飯野地区の平均年齢は、鈴鹿市内にある23の行政区の中で、最も若い40.1歳です。
 *人口統計は、2019年3月末の住民基本台帳を基にしております。

○人口推計
 市全体



※実線グラフは、2015年までの国勢調査結果による3区分人口。点線グラフは、2010年の国勢調査結果を基にした国立社会保障・人口問題研究所による2015年以降の将来推計人口より作成した3区分人口

飯野地区



※全国小地域別人口推計システム URL <http://arcg.is/1LqC6qN>
 (作成者 青山学院大学 井上孝 氏)

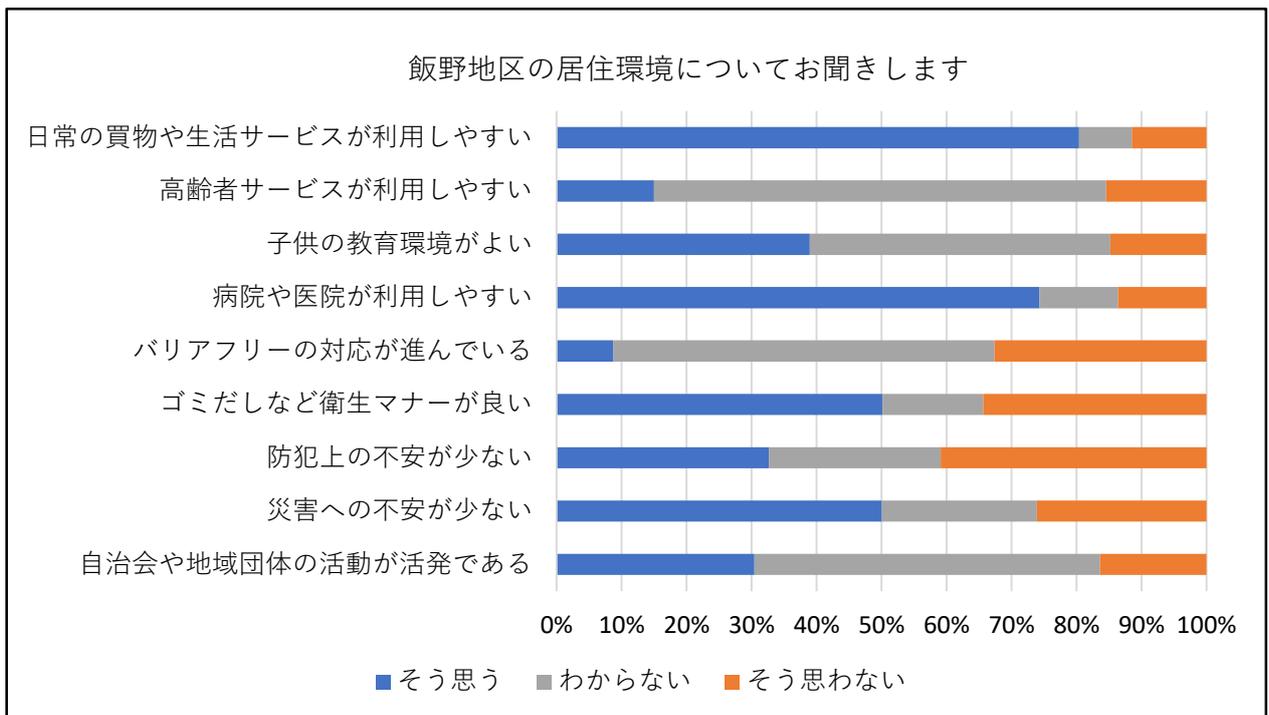
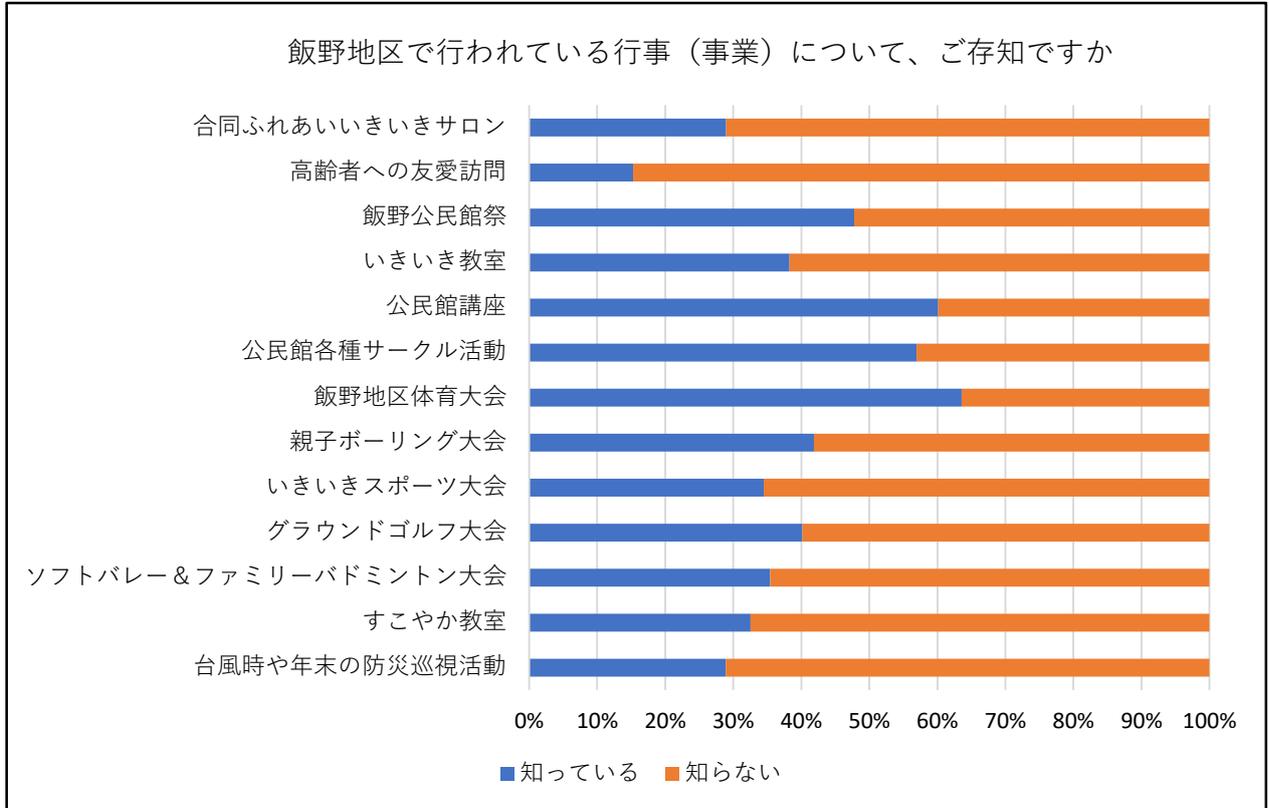
(3) 地域の主な資源
 (文化財等一覧)

名称	概要	所在地	備考
木造善然上人座像	写実的な彫刻、鎌倉時代の作	三日市二丁目	国指定重要文化財
金生水沼沢植物群落	さぎ草・コモウセンゴケ・ノハナショウブ等500種が混生	地子町・西條町	国指定天然記念物
オンナイ念仏会	願智上人の命日8月4日に如来寺、太子寺などで念仏	三日市二丁目	県指定無形民俗文化財
木造阿弥陀如来立像	檜の寄木造り、平安後期の作	三日市二丁目	市指定有形文化財
千手観音立像	深藕寺観音堂の本尊、一木造り、平安時代後期の作	飯野寺家町	市指定有形文化財
沢城址	約650年前、関氏の長男盛澄が築いた城址	飯野寺家町	平成4年11月碑を建立

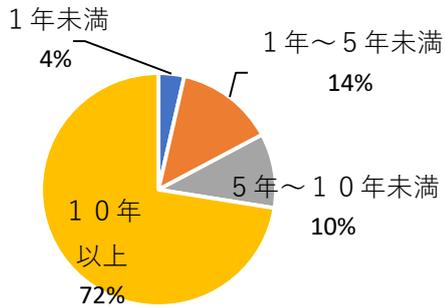
(4) 住民の意識と地域課題

アンケート調査等の結果と分析

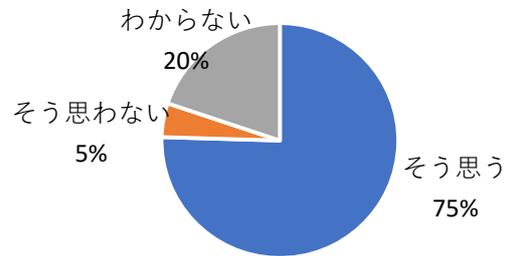
平成30年11月に飯野地区の住民にアンケート調査を実施 2,486世帯から回答



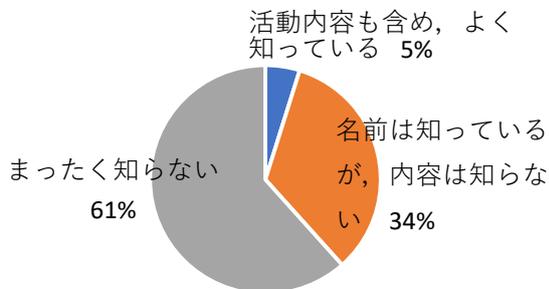
どのくらいの期間、飯野地区にお住まいですか？



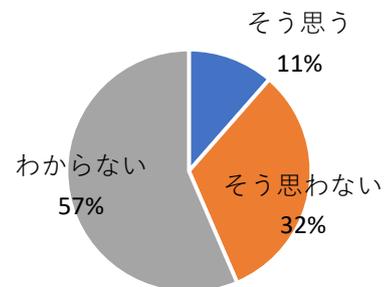
これからも飯野地区に住みたいと思いますか？



飯野地区地域づくり協議会（準備委員会）についてお聞きします。



飯野地区の「地域づくり活動」に参加してみたいと思いますか？



飯野小学校と創徳中学校で行い、広く一般に、大会参加者を募集する体育大会は、認知度も高くなっております。

また、「高齢者への友愛訪問」の認知度が低いのは、対象者が限られることが主な原因と考えられますが、「高齢者サービスが利用しやすい」「バリアフリー化が進んでいる」という項目の満足度が低く、公的機関と連携して、取り組みを検討していく必要があります。

「台風時や年末の防災巡視活動」の認知度が低くなっておりますが、もっと消防分団の活動・役割を住民に広く知ってもらい、理解してもらうことが大切であるといえます。

自治会や地域団体の活動につきましても、比較的満足度が低く出ておりますが、飯野地区には、様々な成り立ちの自治会があり、自治会により活動に大きな差があるようです。

なお、日常の買物など日常生活のサービスなどの満足度や病院・医院の利用のしやすさは満足度が高く、商業施設・医療福祉施設などは充実しており地域住民の満足度も高いといえます。

* 自由記入の御意見・要望等につきましては、ワークショップでの話し合いの際に参考としました。

4 まちづくりの基本方針と取り組み（分野別）

社会福祉部

だれもが支え合って、安心して楽しく暮らせるまち

引きこもりがちな高齢者や障がい者を、地域の人みんなで支え合って守ることにより、安心して暮らせるまちを目指します。また、生活の安心だけでなく、楽しく暮らせることも目指します。

課題

地域福祉の役割の整理
 高齢者の交流できる場所がない
 近所づきあいの希薄化
 世代間の考え方の違い
 サービス利用時の金銭的負担が大きい

宝物

生活が便利な施設が多い
 若い人が多いまち
 1人暮らしの高齢者等の見守り活動
 ボランティア団体さぎ草の会

4年間で特に力を入れて取り組むこと

老人会の活性化×高齢者の交流
 事業・組織の整理を行う

取り組む事業	方向	事業年度スケジュール			
		2020	2021	2022	2023
老人の交流の場づくり	新規	現状調査	検討	実践	改善
高齢者の交流を促すために、気楽に常時、高齢者が交流できるような場を新規に作る。					
組織・事業の見直し	新規	現状調査	検討	実践	改善
民生委員などの負担軽減を図るため、組織の見直し、事業の見直しを行う。					
いきいきふれあいサロン	維持				
1人暮らしの高齢者に集ってもらい、様々な催しを行い、コミュニケーションを図るキッカケを作る。					
高齢者等への友愛訪問	維持				
民生委員が月に2回程度、高齢者等の世帯へ訪問する。希望者に月に1回、訪問時に給食の配食サービスを行う。					
沢城址碑清掃管理	維持				
年に7回、各自治会の老人会で当番を決めて、以前飯野地区で建立した沢城址碑の周辺の除草や清掃を行う。					
地区老人会グラウンドゴルフ大会	維持				
グラウンドゴルフを老人会会員同士で行い、会員の親睦を図る。					
要援護者登録活動	維持				
災害時に援護が必要な高齢者等を登録しておく制度で、希望した者を登録。					

産業振興部

地域活性化できらめくまち

地域が一体となり、緑豊かな自然を守り、地域の特性を活かし、若者からお年寄りまで、みんなの力で活気あふれる、「きらめくまち」づくりに努めます。

課題

知識の継承
不法投棄
排水問題
公共交通機関の整備

宝物

若者が多い
グリーンベルトがある
商・工業施設が多い

4年間で特に力を入れて取り組むこと

農業体験を通して、若い世代へ農業技術を承継する
(例：田植えからしめ縄づくり)

取り組む事業	方向	事業年度スケジュール			
		2020	2021	2022	2023
農業体験の実施 (田植えからしめ縄づくり)	新規	事業内容 検討	田植え ～ 稲刈り体験	どろんこ体験 (しめ縄づくり)	事業 見直し
飯野地区で、最も一般的な農業である稲作農業を若い世代へ技術伝承する事業を新規に行う。					
農地の保全	維持				
農地転用時の意見具申。 荒廃農地の所有者又は管理者に改善するように指導。					

文化振興部

みんなが様々な文化的イベントなどに気楽に参加できるまち

地域みんなが気楽に参加できるイベントを行うことで、イベントへの参加促進を図り、人と人のつながりを広げ、地域コミュニティをより活性化・強化します。

課題

大きなイベントが少ない
気楽に参加できない
公民館サークルの数が少ない
大きな広場がない
公民館が狭い
地区が広すぎる
行事が多い・役員不足

宝物

文化会館や図書館等の公的施設が充実している
素晴らしい文化財がある
(5ページ参照)
自然が多い
行事などが充実している自治会もある

4年間で特に力を入れて取り組むこと

様々なイベントを統合した飯野祭を開催

取り組む事業	方向	事業年度スケジュール			
		2020	2021	2022	2023
飯野祭	新規	現状把握 事例収集	実行委員会 立ち上げ	本格準備	飯野祭の開催
様々なイベントを統合した飯野祭の開催を目指す。					
公民館祭	維持				
公民館でサークル活動を行っているサークル生が作品展示や舞台発表を行うイベント。					
公民館講座	維持				
公民館が主催する地域住民対象の文化的な講座。					
公民館サークル活動	維持				
公民館において行うサークル活動。					
文化財維持	維持				
飯野地区にある文化財を維持する活動。主に自治会が主体となって現在は行っている。					

スポーツ振興部

子供から高齢者までスポーツを通して元気に暮らせるまち

さまざまなスポーツを老若男女関係なく、地域みんなが楽しむことにより、健全な心身を保ち、人と人とのつながりを広げることにより、元気に暮らせるまちを目指します。

課題

行事の負担が大きい
 役員不足
 情報不足・コミュニケーション不足
 施設の不足
 区域が広すぎる

宝物

行事の充実
 医療の充実

4年間で特に力を入れて取り組むこと

参加者だけでなく、体育員等の運営する者と一緒に楽しむような活動を新たに企画し、結果的に心と体の健康づくりを行う。

取り組む事業	方向	事業年度スケジュール			
		2020	2021	2022	2023
ふれあい企画	新規	新企画試行	新企画試行	アンケート実施	本格実施
体育委員が、自分の趣味・特技を活かして、体育委員も運営するだけでなく一緒に楽しむ企画。					
地区体育大会	維持				
各自治会から参加選手を募り、自治会対抗で様々な競技を行う大会。年に1回実施。					
地区親子ボーリング大会	維持				
親子を対象としてボーリング大会を実施し、参加者の親睦を図る。					
地区グラウンドゴルフ大会	維持				
小学生以上を対象に、グラウンドゴルフ大会を開催し、参加者の親睦を図る。					
地区ソフトバレー & ファミリーバドミントン大会	維持				
小学生以上を対象に、ソフトバレーボール大会、バドミントン大会を開催し、参加者の親睦を図る。					
わくわく体験ニュース スポーツへの協力	維持				
市のスポーツ推進協議会が開催する「新しいスポーツ」を体験する企画イベントへの協力。					
ラジオ体操・自治会運動会	維持				
夏休みの期間に、自治会で行っているラジオ体操や、自治会で行っている運動会への補助を行う。					

青少年育成部

地域で見守り、安全安心な中で子どもが輝けるまち

地域が一体となり見守り、子どもが安全で安心して学び遊べることのできる地域の環境を整え、次世代を担うたくましく心豊かな子どもを積極的に育成します。

課題

世帯間の交流が少ない
 学校と活動範囲の不整合
 インフラ整備の必要性
 遊べる場所が少ない

宝物

サツマイモ栽培体験
 もちつき大会
 すこやか教室
 講演会の開催
 公民館・各地区集会所
 神社仏閣

4年間で特に力を入れて取り組むこと

地域の施設利用促進
 主要イベントの参加者倍増
 1年目10% 2年目30%
 3年目60% 4年目100%

取り組む事業	方向	事業年度スケジュール			
		2020	2021	2022	2023
各地区の集会所等活用	新規	調査準備	各自治会へ働きかけ	順次拡大	順次拡大
子どもの遊び場として、各自治会の集会所等を開放していく。					
サツマイモ栽培体験	発展	育成だより充実 人材確保・部内の組織化	育成だより発行強化 ボランティアの組織化	ネット活用 イベントの運営方法見直し	イベント会場見直し 学校と共に情報発信
就学前の子どもたちを集め、サツマイモの植え付け・収穫を体験してもらう。公民館のすこやか教室の一環。					
もちつき大会	発展	育成だより充実 人材確保・部内の組織化	育成だより発行強化 ボランティアの組織化	ネット活用 イベントの運営方法見直し	イベント会場見直し 学校と共に情報発信
公民館祭の来場者へ無料でつくたての餅をふるまうとともに、子どもに餅つき体験をしてもらう。					
すこやか教室	発展	育成だより充実 人材確保・部内の組織化	育成だより発行強化 ボランティアの組織化	ネット活用 イベントの運営方法見直し	イベント会場見直し 学校と共に情報発信
就学前の子どもたちに、さまざまな遊びを提供し、子供の健全な育成を目的とする。5月～2月まで月1回開催。					
講演会の開催	維持				
子ども育成に関係する講演を、総会の開催後（議事終了後）に行う。					

*もちつき大会は、文化振興部及び社会福祉部と共催。また、すこやか教室・サツマイモ栽培体験は、文化振興部と共催。なお、もちつき大会とサツマイモ栽培体験は、産業振興部も協力。

防災安全部

地域コミュニティで防災安全を確保するまち

災害や事件が起きたときに、住民同士が助け合う基盤を担う地域コミュニティを活発化し、地域住民の生命財産を災害から防ぎ、また犯罪などから地域住民を守ります。

課題

若者と地域のつながりが薄い
 交通・道路事情が悪い
 交通マナーが悪い
 防犯活動が少ない
 情報発信の方法
 多文化共生の問題

宝物

子どもが多い
 地域で子どもを見守る
 地域の活動

4年間で特に力を入れて取り組むこと

防災安全フェスタの開催
 地域で子どもを見守る

取り組む事業	方向	事業年度スケジュール			
		2020	2021	2022	2023
防災安全フェスタ	新規	研修会 フェスタ企画	研修会 フェスタ企画	第1回防災安全 フェスタ開催	振り返り・研修 会 2回目企画
防災・消防・防犯・交通安全をテーマとしたフェスタを開催する。					
子どもの見守り	発展	PTA・学校・地域 との連強化	PTA・学校・地域 との連強化	PTA・学校・地域 との連強化	PTA・学校・地域 との連強化
子どもの登下校時に子どもを地域で見守る活動。PTA、学校、地域で連携して活動強化。					
防犯・防火パトロール	維持				
住民の防犯・防火に対する意識を高めるためのパトロールを実施。					
年末特別警戒	維持				
慌ただしい年末において、より一層住民の防火意識を高めるために実施。					
防災・操法・水防訓練	維持				
災害時に敏速な対応ができるように、様々な技術向上・体力向上のための訓練を行う。					

5 飯野地区地域づくり協議会「地域計画」策定経過

平成30年11月

地区の住民に対して、住民アンケートを実施

地区活動の認知度、住みやすさなどの満足度などの調査を行うと同時に地域づくりへの意見を自由に記入してもらう

平成31年4月

鈴鹿市地域づくり協議会条例 施行

地域づくり協議会において、地域づくりの基本目標及び活動方針を定めた地域計画の策定をすることが規定される

令和元年10月

第1回 専門部別ワークショップを開催

課題・たからもの抽出を行う

令和元年11月

第2回 専門部別ワークショップを開催

4年間（2020年度～2023年度）の取り組みについて話し合う

令和元年12月

準備委員会で地域計画（案）を提案

令和2年1月

地域計画修正（案）を提案

令和2年2月

地域計画（案）を設立総会にて承認

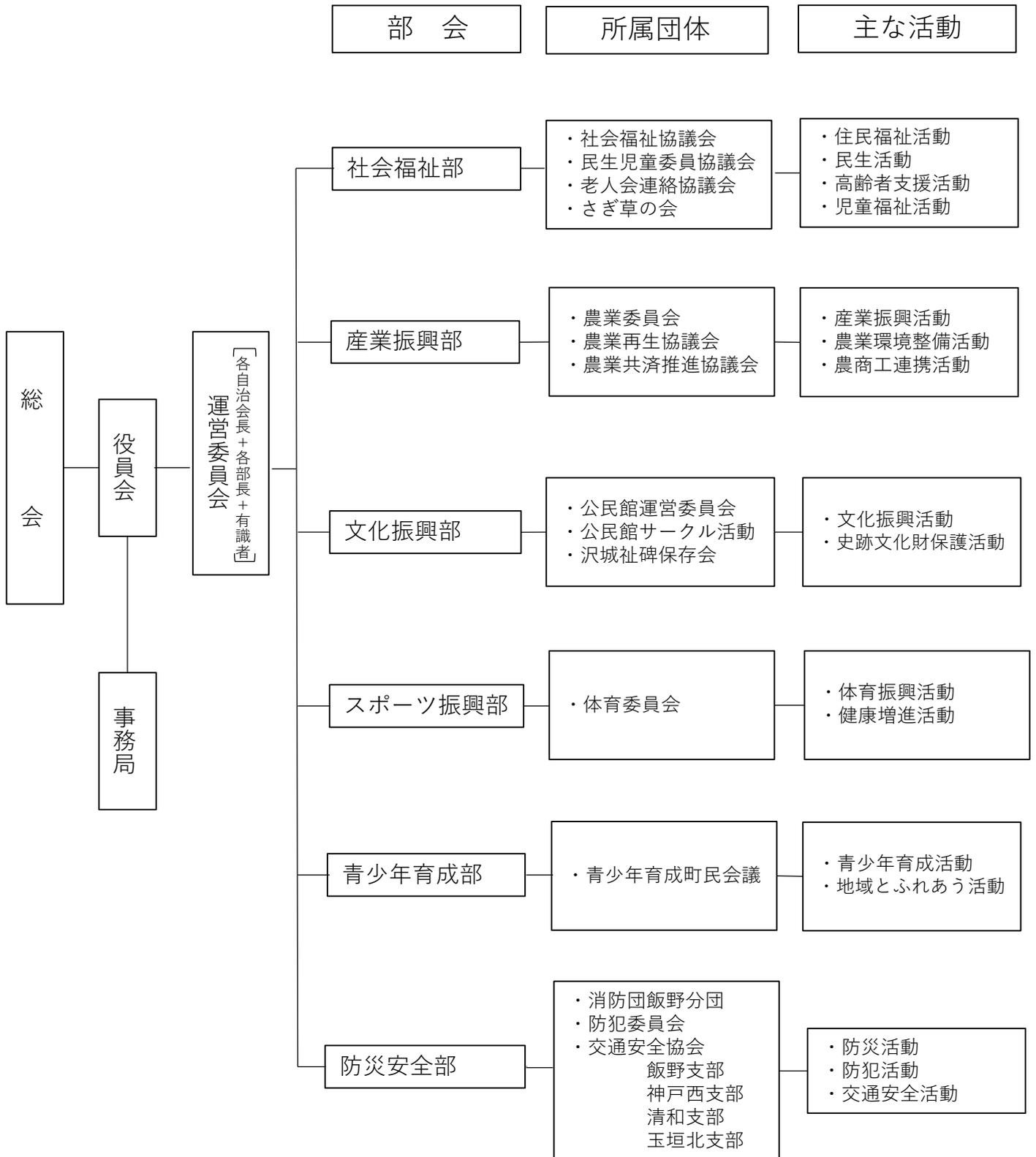
令和2年3月

地区住民へ地域計画を周知



（ワークショップでの話し合いの風景）

6 飯野地区地域づくり協議会 組織図



飯野地区地域づくり協議会
— 地域計画 —

2020年3月

編集・発行 飯野地区地域づくり協議会